

中国における訪日旅行取扱旅行会社
39社のヒアリング結果・発言録
～ツアー販売・催行状況と、目的地のトレンド～



2011年8月4日
株式会社チャイナ・コンシェルジュ

※本件調査結果は2011年7月25～28日に実施したのヒアリング結果を元にまとめております。

※お問い合わせ:

株式会社チャイナ・コンシェルジュ 営業企画部 福島、菊地

東京都中央区銀座8-11-5正金ビル6階

TEL03/3573-1222/FAX.03-3573-1221

調査概要

- 1) 調査期間: 2011年7月25日～2011年7月28日
- 2) 対象都市: 瀋陽、大連、北京、青島、上海、南京、重慶、広州、深セン
- 3) 対象者: 上記都市にて訪日旅行を取り扱う旅行会社の訪日関連部署の担当者
- 4) 調査手法: 電話調査
- 5) サンプル数: 39社

| | |
|-------|---|
| 瀋陽(3) | 瀋陽中国旅行社、瀋陽青年国際旅行社有限公司、遼寧海外国際旅行社 |
| 大連(4) | 大連山水旅行会社、大連市海外旅行社、大連市中国国際旅行社、大連市中国青年旅行社 |
| 北京(9) | 中国国際旅行社総社有限公司、中商国際旅行社有限公司、北京神舟国際旅行社集団有限公司、中青旅控股股份有限公司、中国婦女旅行社、中国和平国際旅游有限責任公司、中国康輝旅行社集団有限責任公司、中信旅游総公司、日信観光 |
| 青島(3) | 青島海外旅游有限公司、青島華青国際旅行社、中国国旅(青島)国際旅行社 |
| 上海(8) | 上海国旅国際旅行社有限公司、上海中旅国際旅行社有限公司、上海中国青年旅行社、上海錦江旅游有限公司、上海春秋国際旅行社有限公司、上海航空国際旅遊有限公司、上海不夜城国際旅行社有限公司 |
| 南京(1) | 江蘇海外旅游有限公司 |
| 重慶(3) | 重慶中国青年旅行社、重慶市中国旅行社有限公司、重慶天鷲国際旅遊有限公司 |
| 広州(7) | 広東省中国旅行社、広東国旅国際旅行社、広州広之旅国際旅行社、港中旅広東国際旅行社有限公司、広東省中国青年旅行社、広州東方国際旅行社、広東南湖国際旅行社 |
| 深圳(1) | 深圳中国国際旅行社 |

6) ヒアリング項目:

1. 夏(7-8月)出発のツアーの集客状況
2. 国慶節シーズンの訪日旅行について
3. 今後の訪日旅行回復の見込み
4. マルチビザの反響①沖縄商品が売りやすくなったか
5. マルチビザの反響②造成・販売予定の商品

調査結果サマリ

1.夏(7-8月)出発のツアーの集客状況

- 各社とも、6月に比べ、7月出発のツアーは、催行数が増加している模様。
- 実際に集客または送客できているツアーとしては、ゴールデンルートが中心となっている。

2.国慶節シーズンの訪日旅行について

- 重点的商品は「ゴールデンルート」とした会社が19社と最も多い。この他、「関西」、「北海道」が挙げられている。
- 国慶節シーズンの集客見込みについては、「減少する」「去年ほどではない」との見方が大勢を占めている。

3.今後の訪日旅行回復の見込み

- 「分からない」「何とも言えない」との意見が大勢を占める。「少しずつやりながら見ていくしかない。」とのコメント代表されるように、各社ともまだ手探り状態のようだ。
- 今後の訪日旅行の回復見込みについては、「春節前後から本格的に回復が始まる」とする担当者が散見。

4.マルチビザの反響①沖縄商品が売りやすくなったか

- 北京の各社においては、9月に予定されている「CAの北京⇄那覇直行便就航後に考える」との意見が見られる。
- 既に直行便が出ている上海各社からは「若干売りやすくなった」とのコメントが多いことが特徴的。
- 広州においては、「興味がある」「問い合わせがある」「チャンスだと思う」との前向きな回答が中心。

5.マルチビザの反響②造成・販売予定の商品

- マルチビザに合わせた商品としては、「FIT」「沖縄1エリアのみ」との回答が主流。
- 北京、上海、広州の沿岸3大都市以外においては、「未定」「今のところ予定なし」との回答が中心。
- 一部、「マルチビザは、長期的にみて旅行会社にはメリットがない」とのコメントもみられた。

1.夏(7-8月)出発のツアーの集客状況

- 各社とも、6月に比べ、7月出発のツアーは、催行数が増加している模様。
- 実際に集客または送客できてるツアーとしては、ゴールデンルートが中心となっている。

| No. | エリア | 7月出発 | 8月出発 |
|-----|------|---|--|
| 1 | 瀋陽A社 | 20人強。ゴールデンルートで、価格は5、6000元程度。去年より1000元ほど安い。 | 8月も7月と状況はほぼ同じ。 |
| 2 | 瀋陽B社 | 200人強で、8団体。ゴールデンルート。価格は5000元ちょっと。 | 8月も7月とほぼ同じ。申込人数は多いとは言えない。 |
| 3 | 瀋陽C社 | 40人前後で、ゴールデンルート。価格は5000元前後。 | 7月よりはマシ。やはり6000元前後のゴールデンルート。 |
| 4 | 大連A社 | 2団体。ゴールデンルート。 | 1団体、ゴールデンルート。 |
| 5 | 大連B社 | 0件です。 | 3団体、ゴールデンルート。 |
| 6 | 大連C社 | 2団体、計50人前後で、ゴールデンルート。 | 催行人数まで到達していない |
| 7 | 大連D社 | 3団体。ゴールデンルート。合計80人前後。 | 催行人数まで到達していない |
| 8 | 北京A社 | まだ集計出来ていない。ゴールデンルート6日間、関西5日間、九州4日間、北海道4日間等。価格はいずれも5000元前後。 | 8月出発のツアーは今募集中。催行人数に達するかどうか何とも言えない。 |
| 9 | 北京B社 | 250人前後。5000元弱のゴールデンルート。 | 2団体が催行できそう。ゴールデンルート。 |
| 10 | 北京C社 | 2団体、計40人前後。 | 3団体、約60人。 |
| 11 | 北京D社 | 3団体、約70人。大阪・東京のゴールデンルートと、後一部北海道呑みのツアーあり。5泊6日で6000元程度。 | 6団体、140人弱。ゴールデンルート。 |
| 12 | 北京E社 | 沖縄ツアーが初めて1団体出来た。10人前後の団体。4日間のフリー、JAL利用で東京で乗り換えという内容で、6000元強。この他、ゴールデンルートが3団体ある。 | 申込はあるが、まだ催行人数にまで至っていない。8月はホテルが高い。 |
| 13 | 北京F社 | 乗合で6団体前後できた。人数はFITも含めれば120人前後。ゴールデンルートと北海道。 | 催行が決まっているものはない。 |
| 14 | 北京G社 | 5団体、約120人。ゴールデンルート。 | 2団体、約40人。1つはゴールデンルートで、もう1件は北海道。 |
| 15 | 北京H社 | 2団体、40人。1つはゴールデンルートで、もう1つはゴルフ。 | まだ催行人数に達していない。 |
| 16 | 北京J社 | 7団体で、合計150人弱。大阪・東京中心で5泊6日。値段は5000元前後。 | 8団体、160人前後。値段も7月と大差ない。 |
| 17 | 青島A社 | 200人弱。4000~6000元のゴールデンルート。 | 7月程良くない。おそらく200人程度で、ゴールデンルートが中心。 |
| 18 | 青島B社 | 催行には至っていない。日本部で新会社を設立することになり、現在園準備中だから。 | 催行には至っていない。日本部で新会社を設立することになり、現在園準備中だから。 |
| 19 | 青島C社 | 100人前後。ゴールデンルートと北海道が中心。この他、九州の修学旅行が1つある。 | 7月と大差ない。商品の値段でいうと去年より全体的に20%ほど安くなっている。 |
| 20 | 上海B社 | まだはっきりとした集計をしていないので詳しいことは言えない。メインは名古屋以西の旅程で、岡山IN大阪OUTの商品もある。価格や去年より20%ほど割安。 | はっきりとした人数は不明。しかし牛肉の問題のせいで、日本旅行にまた心配材料が増えてしまった。ゆえに7月より少なくなるのではないかと。(牛肉問題のせいで)震災直後の状況に逆戻りしてしまうのでは。 |
| 21 | 上海C社 | 約200人。多くは個人渡航者が中心。ゆえに目的地や費用もばらばら。 | まだ集計していないので分からないが、そんなに良いわけではないと思う。 |
| 22 | 上海D社 | 回答拒否 | 回答拒否 |
| 23 | 上海E社 | 40団体で、約1000人。 | 予約状況はまずまずといったところ。詳細は集計していないので不明だが、20団体前後あるはず。主に関西、沖縄で、価格は去年より1000~2000元安いものが中心。 |
| 24 | 上海F社 | 約1300人。四国、九州と、ゴールデンルート等。 | 800~900人ほどで、去年よりだいぶ少ない。去年は3000人はいた。 |
| 25 | 上海G社 | 約20団体で、合計400人前後。北海道、沖縄、関西等。 | 7月とほぼ同じ。 |
| 26 | 上海H社 | 100人程度ととても少ない。個人渡航者が中心。 | 7月よりはマシだとおもうが、集計していないので具体的な状況は不明。目的地としては沖縄と北海道が中心。 |
| 27 | 上海I社 | 200人前後。主に、4000~5000元の本州と九州が中心。 | 100人強。7月より値段が上がり、5000~6000元程度。 |
| 28 | 重慶B社 | 7月には20~30人おり、行き先は関西と本州。6日間で、5000元程度のもものが中心。 | 8月出発の商品はまだ募集中で数字は分からない。目的地は関西と本州が中心。沖縄の団体と自由旅行についての問い合わせも一部ある。 |
| 29 | 重慶C社 | 7月には約50~60人おり、本州と北海道が中心。6日間で、4000元~7000元のもものが主流。 | 8月は約20~30人ほど。主に本州と北海道の団体ツアーで、6日間程度のもの。本州ツアーの値段は4000~7000元の間。北海道は8000~9000元程度。 |

| No. | エリア | 7月出発 | 8月出発 |
|-----|------|--|--|
| 30 | 重慶D社 | 7月には30人前後いた。日本全国の旅行商品があるが、人気なのはゴールデンルートで東京IN大阪OUT、安価な6日間4580元。 | 8月は50人前後で7月と同じ程度。日本各地のツアー商品を出しているが、やはりゴールデンルートの東京IN-大阪OUTが人気。6日で4580元。 |
| 31 | 南京H社 | たったの300人程度。ゴールデンルートの大阪と東京が中心。 | 7月よりはマシ。商品もほぼ同じ。 |
| 32 | 広州A社 | 6団体、約130人。ゴールデンルート。 | 3団体。ゴールデンルートと、北海道。 |
| 33 | 広州B社 | 6団体、約120人。ゴールデンルート、北海道。 | 4団体、ゴールデンルート。 |
| 34 | 広州C社 | 10団体。北海道、ゴールデンルート、関西。 | 6団体。ゴールデンルートと北海道。 |
| 35 | 広州D社 | 3団体で、70人前後。 | 4団体。うち2件がゴールデンルートで、北海道と関西がそれぞれ1件ずつ。 |
| 36 | 広州E社 | 5団体で、90人前後。ゴールデンルートの商務旅行が3件、一般客向けの募集モノが2件。あとは関西。 | 催行人数には至っていない。まだ募集中。 |
| 37 | 広州F社 | 2団体。ゴールデンルート。 | 現在募集中。まだ催行人数には至っていない。 |
| 38 | 広州G社 | 4団体、約100人。ゴールデンルートと北海道。 | 2団体。ゴールデンルート。 |
| 39 | 深圳A社 | 3団体で、約80人弱。ゴールデンルート。 | 2団体。ゴールデンルート。 |

2.国慶節シーズンの訪日旅行について

- 重点的商品は「ゴールデンルート」とした会社が19社と最も多い。この他、「関西」、「北海道」が挙げられている。
- 国慶節シーズンの集客見込みについては、「減少する」「去年ほどではない」との見方が大勢を占めている。

| No. | エリア | 重点的に販売する予定の商品 | 集客の見込み(対前年比) |
|-----|------|--|---|
| 1 | 瀋陽A社 | 新しいルートは準備していない。 | 去年ほどではないだろう。 |
| 2 | 瀋陽B社 | ゴールデンルートが中心。 | 何とも言えない。 |
| 3 | 瀋陽C社 | ゴールデンルート。 | 何とも言えない。 |
| 4 | 大連A社 | ゴールデンルート。 | 減少する。 |
| 5 | 大連B社 | ゴールデンルート。 | 減少する。 |
| 6 | 大連C社 | ゴールデンルート。 | 減少する。 |
| 7 | 大連D社 | ゴールデンルート、北海道。 | 減少する。 |
| 8 | 北京A社 | いろんな目的地を継続的に試している。例えば九州の団体ツアー。多くの商品はエコミータイプが中心だが、消費者のニーズによってはハイエンドな商品を出すかもしれない。例えばゴルフツアー等。 | 国慶節向けの商品を現在設計中。航空運賃が7、8月は値上がりする関係で、旅行商品の値段も高くなってしまふ。消費者の反応も何とも判断しがたい。 |
| 9 | 北京B社 | やはりゴールデンルートが中心になる。大阪、東京、箱根等。 | 何か起きない限り、絶対大幅に減少すると思う。おそらく去年の30%程度。 |
| 10 | 北京C社 | 航空券の確保状況による。 | 航空券は確保したが、集客がままならない。今の日本は韓国の値段より安いものもある。韓国の商品は悪くないが、日本は難しい。競争も激しい。まだ具体的な計画が出来ておらず、回復の状況を見ながらどんな商品を押ししていくのかを決めたい。しかし、おそらくはゴールデンルートが中心になるのだと思う。 |
| 11 | 北京D社 | 大阪、東京。やはりゴールデンルート。 | 減少する。去年の同時期には約20団体は催行できたが、今回はせいぜい5団体ぐらいだと予想。 |
| 12 | 北京E社 | ゴールデンルート、自由旅行、沖縄自由旅行、関西一帯。 | 分からない。予測が難しい。しかし多くなることはない。 |
| 13 | 北京F社 | ゴルフツアー。 | 少なくとも2/3以下にはなると思う。去年は10団体程度有った。 |
| 14 | 北京G社 | メインはゴールデンルート。このルートだけが現在集客出来ている。 | 減少する。去年の同時には15団体を送客したが、今年は5団体行くか行かないか程度だと思ふ。 |
| 15 | 北京H社 | メインはゴールデンルート。このルートだけが現在集客出来ている。 | まだ完全に回復しているわけではないので、団体ツアーの催行率は低いし、そもそも集客が難しい。 |
| 16 | 北京J社 | ゴールデンルート、北海道、関西。正直なところ、これらの商品しか集客につながらない。他の目的地となると問い合わせに来る人すらほとんどいない。 | 去年には遠く及ばないはず。去年の同時期には30団体前後を送客したが、今年は10団体程度だろう。 |
| 17 | 青島A社 | ゴールデンルートがメイン。青島は新しい商品が受け入れられるのに時間がかかる。北海道ですら1~2年経ってようやく申込が来るようになった。 | 去年は尖閣諸島があり、少なかった。今年は分からないが、しかし楽観視はできない。 |
| 18 | 青島B社 | ゴールデンルート | 分からない。状況が好転することを期待。 |
| 19 | 青島C社 | ゴールデンルート | かなり減少すると思う。 |
| 20 | 上海B社 | 関西 | 去年に比べかなり減少すると思う。 |
| 21 | 上海C社 | 団体となるとやはり関西がメイン。しかし現在航空券が決まらないので、何とも言えない。 | 去年ほどではない。 |
| 22 | 上海D社 | ゴールデンルートが中心になると思う。後は関西の商品。しかし、まだ航空券を押さえてないので何とも言い難い。 | 去年は尖閣諸島問題で多くなかったが、今年も楽観視できない。 |
| 23 | 上海E社 | 航空券の状況による。おそらく関西の商品が中心になると思う。 | 去年ほど多くはないと思う。 |
| 24 | 上海F社 | チャーターで四国と九州。あとはゴールデンルート。 | 割と楽観視している。去年より増えると思う。 |
| 25 | 上海G社 | 特別な計画はないが、北海道に力を入れると思う。 | 去年より減少する。 |
| 26 | 上海H社 | おそらく沖縄の商品を準備すると思う。しかし日本旅行は完全に回復しているわけではないので、日本以外の目的地に力を入れることになる。 | 去年ほど多くなりません。 |
| 27 | 上海I社 | ゴールデンルートが中心。後は九州の行程。 | 去年より少ない。 |
| 28 | 重慶B社 | 沖縄 | 去年より絶対減少する。去年の半分ぐらいと予想。 |
| 29 | 重慶C社 | 北海道はそれぞれの四季いずれも楽しめるので、北海道に力を入れる。 | 去年より少ない。おそらく去年の6割程度。 |
| 30 | 重慶D社 | すべては航空券の確保に夜。 | 去年より3割程度減少すると思う。 |
| 31 | 南京H社 | 今のところ特にない。 | 去年ほどにはならないと思う。 |
| 32 | 広州A社 | 新商品はない。いずれも以前から有る商品ばかりだが、特に北海道をメインとする。 | まだ募集を開始していないので、判断が難しい。 |
| 33 | 広州B社 | 関西と北海道。 | 減少する。 |

| No. | エリア | 重点的に販売する予定の商品 | 集客の見込み(対前年比) |
|-----|------|---|--|
| 34 | 広州C社 | 沖縄も新しいとは言えない。以前にもやったことがある。あとは北海道や関西の商品。 | 回復のスピードが比較的早いので、影響はさほど大きくないと思う。おそらく20%減程度。今の状況からすると、これでも満足すべき数字だと思う。 |
| 35 | 広州D社 | 沖縄、北海道。 | 減少する。去年の同時期には7団体を送客したが、今年は3団体前後になりそう。今は競争も激しく、韓国はとても安い。5日で3000元で行けてしまう。それに比べて日本はやはり高い。加えて安全性の要因もある。多くのお客様は韓国を選んでしまう。 |
| 36 | 広州E社 | 沖縄、関西。 | 減少する。 |
| 37 | 広州F社 | 北海道 | 減少する。集客が大変。競争も激しい。 |
| 38 | 広州G社 | 北海道、ゴールデンルート。 | 減少する。 |
| 39 | 深圳A社 | 北海道、関西、和歌山。 | 減少する。去年の同時期には10団体を送客したが、今年は今の調子で行くと4団体程度になりそう。 |

3.今後の訪日旅行回復の見込み

- 「分からない」「何とも言えない」との意見が大勢を占める。「少しずつやりながら見ていくしかない。」とのコメントに代表されるように、各社ともまだ手探り状態のようだ。
- 今後の訪日旅行の回復見込みについては、「春節前後から本格的に回復が始まる」とする担当者が散見。

| No. | エリア | 今後の回復の見込み |
|-----|------|--|
| 1 | 瀋陽A社 | 分からない。 |
| 2 | 瀋陽B社 | あまり期待はできない。 |
| 3 | 瀋陽C社 | 徐々に良くなると期待。 |
| 4 | 大連A社 | 春節前後には回復するのではないかと。 |
| 5 | 大連B社 | 来年の春節から正常な運用が始まると思う。 |
| 6 | 大連C社 | 年内は大きな回復は見込めない。来年の春節から正常な運用が始められると思う。 |
| 7 | 大連D社 | 早くても来年の春節から回復すると思う。 |
| 8 | 北京A社 | 国慶節向けの商品を現在設計中。航空運賃が7、8月は値上がりする関係で、旅行商品の値段も高くなってしまふ。消費者の反応も何とも判断しがたい。 |
| 9 | 北京B社 | 今年の春節は爆発的な売れ行きだった。大きく回復するのは来年の春節からではないか。あくまでも個人の考えなので参考までに。 |
| 10 | 北京C社 | 消費ニーズはまだ回復といえる状況にはない。おそらく年内は低調なまだろう。来年の春節になれば好転するのではないかと。 |
| 11 | 北京D社 | 全部回復することを期待しますが、しかし現実的には徐々にゆっくり回復するのだと思う。誰にも解答は分からない。 |
| 12 | 北京E社 | 感覚的には、やはり春節前後から回復を始めると思う。 |
| 13 | 北京F社 | 年内は大きな回復は見込めない。来年の春節からやっと正常な運用が出来るようになるのではないかと。 |
| 14 | 北京G社 | 春節以降から回復するのではないかと。 |
| 15 | 北京H社 | 年末にはある程度回復してほしい。 |
| 16 | 北京J社 | 春節までは大きな回復はないだろう。 |
| 17 | 青島A社 | 何とも言えない。2日前の地震後、お客様の問い合わせが減った。 |
| 18 | 青島B社 | 何とも言えない。良くなってほしい。 |
| 19 | 青島C社 | 3、4月よりは良くなっている。しかし、去年のレベルには遠く及ばない。 |
| 20 | 上海B社 | 何とも言えない。特に牛肉問題もある為。 |
| 21 | 上海C社 | 分からない。いつ何が起るか分からない。お客様も敏感になっている。 |
| 22 | 上海D社 | 分からない。 |
| 23 | 上海E社 | 今後は今よりは増えていると思う。しかし航空券の確保の状況による。 |
| 24 | 上海F社 | 夏休みシーズンはひどかった。国慶節には少しは好転していることを期待。 |
| 25 | 上海G社 | まだ大きな回復はしないと思う。 |
| 26 | 上海H社 | 分からない。 |
| 27 | 上海I社 | 分からない。航空券の確保の状況による。 |
| 28 | 重慶B社 | 日本の状況が不安定。地震以外にも台風の影響等があり、9月も大きな数字的な回復は見込めないと思う。この先1~2カ月の間に、日本で大きな天災や人災がなかったら、見通しも明るくなるかもしれない。 |
| 29 | 重慶C社 | 楽観視はできないが、7、8月は5、6月よりは改善している。しかし日本の状況は今でも不安定であるから、10月の集客がどの程度進むかは不透明。 |
| 30 | 重慶D社 | 多少は楽観的にとらえても良いのではないかと。7、8月の送客数は、5、6月よりも明らかに改善している。日本にしばらく地震が発生しなかったら、国慶節も数字が多少は期待できるのではないかと。 |
| 31 | 南京H社 | 分からない。特に回復はしないと思う。 |
| 32 | 広州A社 | 回復が遅いというわけではないが、しかし去年とは比べ物にならない。春節から本格的に回復するのではないかと。 |
| 33 | 広州B社 | 地震発生直後は、年内の回復は困難と考え、韓国の商品の宣伝に力を入れた。しかし、今見ていると回復はまあまあ早いのではないかと。 |
| 34 | 広州C社 | 宣伝に力を入れてき、集客をする努力をするしかない。予測は困難。 |
| 35 | 広州D社 | 分からない。少しずつやりながら見ていくしかない。 |
| 36 | 広州E社 | 予測できない。 |
| 37 | 広州F社 | 大きな回復は春節の頃ではないかと。 |
| 38 | 広州G社 | 予測できない。 |
| 39 | 深圳A社 | 予測できない。 |

4.マルチビザの反響①沖縄商品が売りやすくなったか

- 北京の各社においては、9月に予定されている「CAの北京⇄那覇直行便就航後に考える」との意見が見られる。
- 既に直行便が出ている上海各社からは「若干売りやすくなった」とのコメントが多いことが特徴的。
- 広州においては、「興味がある」「問い合わせがある」「チャンスだと思う」との前向きな回答が中心。

| No. | エリア | マルチビザにより沖縄が売りやすくなったか |
|-----|------|--|
| 1 | 瀋陽A社 | 大きな変化はない。沖縄に行くお客様はそもそも少ない。 |
| 2 | 瀋陽B社 | なっていない。要件が高すぎる。申請に来るお客様も少ない。 |
| 3 | 瀋陽C社 | 特になっていない。ビザの要件が高く、旅費の値段も高い。 |
| 4 | 大連A社 | 静観している。ビザの要件がきつすぎる。附合する人は少ない。 |
| 5 | 大連B社 | 何とも言えない。様子見中。 |
| 6 | 大連C社 | そもそも沖縄について詳しくないので、まずは視察してみたい。 |
| 7 | 大連D社 | コレについて詳しいことを知らないなので、まだ力を入れたりしてはいない。 |
| 8 | 北京A社 | 沖縄のマルチビザの登場は、それなりに影響は有ると思う。しかし、商品造成と販売の角度から考えると、簡単ではないと思う。ゆえに今はまだ特に力を入れてはいない。9月にCAの直行便が就航したら、その時改めて考える。 |
| 9 | 北京B社 | 航空座席を押さえてないので、様子見中。もしCAの直行便が就航し、座席が確保できたら、FTIから始めるかもしれないし、そうではないかもしれない。何とも言えない。 |
| 10 | 北京C社 | 今現在だとカイサーがやっている直行便か、値段が高くなることを覚悟で、他都市経由にするか。FITならいくらかは問い合わせがあるはず。しかし、力を入れるにしてもチャーターも出来ない。大手の会社はあまり沖縄はやりたくないと思っているのではないかな。 |
| 11 | 北京D社 | ビザの代理申請は興味がない。3年のマルチで1回当たり90日滞在可能、、、こういうビザを消費者が申請しないことを希望している。そもそも、こういうビザを申請する人は、親戚や友人訪問目的か、商務が目的。従って、旅行会社を2回目の渡航からは通す必要がなくなる。つまり、旅行会社は役割がなくなってしまう。また、ビザの要件も厳しく、年収に加え多くの条件がある。 |
| 12 | 北京E社 | 問い合わせは多いので、これらのニーズの取り込みを考えたい。 |
| 13 | 北京F社 | FITのお客様2名がこのビザを取得した。このビザが出来てから問い合わせが非常に多くなった。条件は比較的厳しいが、段階的に緩和されると思っている。商務ビザや親戚訪問ビザの役割をしていく事になると思う。ビザを取得した人同士が、互いに紹介しあってくれたら宣伝につながり、もっと増えていくと思う。 |
| 14 | 北京G社 | 問い合わせは少なくないが、何せ条件が厳しい。なので問い合わせどまりがほとんど。また、航空券も確保できていないのでルート設計も特にしていない。まずはCAの直行便が就航してから考える。 |
| 15 | 北京H社 | 特に力を入れて販売はしていない。CAが就航したら考える。 |
| 16 | 北京J社 | 沖縄の団体ツアーは目玉商品にはなりえない。航空券の確保が難しいので、CAの直行便には期待している。 |
| 17 | 青島A社 | 特にない。条件が厳しい。問い合わせも少ない。 |
| 18 | 青島B社 | 申込に来る人は少ない。 |
| 19 | 青島C社 | 特に大きな変化はない。年収25万円なんて条件が厳しすぎる。旅行会社側は、このビザ条件のチェックも慎重に行わなければならない。 |
| 20 | 上海B社 | 若干売りやすくなった。 |
| 21 | 上海C社 | 売りやすくなった。 |
| 22 | 上海D社 | 問い合わせが増えた。 |
| 23 | 上海E社 | 以前よりは売りやすくなった。ビザが欲しいだけでなく、このビザの報道で初めて沖縄を知った人も多いと思う。 |
| 24 | 上海F社 | 特にない。要件が厳しすぎる。問い合わせは多いが、申請に至る人はとても少ない。 |
| 25 | 上海G社 | 特に売りやすくなったということはない。ビザの条件も厳しい。 |
| 26 | 上海H社 | 売りやすくなった。 |
| 27 | 上海I社 | 大きな変化はない。 |
| 28 | 重慶B社 | 沖縄の自由旅行の問い合わせに来るお客様が増えたが、まだまだ微増といったところ。 |
| 29 | 重慶C社 | 問い合わせに来る人は多いが、ビザの要件が厳しい為、条件に附合する人は少ない。ゆえに、まだ実際に取得して渡航した人はいない。 |
| 30 | 重慶D社 | 今日までに2名の問い合わせがあった程度。特に大きな反響は感じられない。マルチビザの要件は高く、多くの人は実際には申請に至ることができない。 |
| 31 | 南京H社 | 大きな変化はない。南京から直行便も出ていない。 |
| 32 | 広州A社 | 問い合わせは多い。ちゃんと集計はできていないが。。。問い合わせの内容のほとんどは、申請条件について。 |
| 33 | 広州B社 | 問い合わせは多くない。あまりお客様は興味がないようだ。 |
| 34 | 広州C社 | 問い合わせもあるし、実際に申請に至ったものもある。しかし条件はとても厳しいと思う。 |
| 35 | 広州D社 | 沖縄は興味があるので検討している。 |
| 36 | 広州E社 | 問い合わせは少なくないので、また沖縄の商品を試してみようかとも思う。今は香港経由で行くしかない。広州から直行便が飛んでくれると良いのだが。。。 |
| 37 | 広州F社 | 興味は持っている。 |
| 38 | 広州G社 | 興味は持っている。 |
| 39 | 深圳A社 | チャンスだと思う。沖縄商品の造成を検討したい。 |

5.マルチビザの反響②造成・販売予定の商品

- マルチビザに合わせた商品としては、「FIT」「沖縄1エリアのみ」との回答が主流。
- 北京、上海、広州の沿岸3大都市以外においては、「未定」「今のところ予定なし」との回答が中心。
- 一部、「マルチビザは、長期的にみて旅行会社にはメリットがない」とのコメントもみられた。

| No. | エリア | どんな商品を造成・販売予定か |
|-----|------|---|
| 1 | 瀋陽A社 | 沖縄+東京のホテル&航空券のパッケージ。 |
| 2 | 瀋陽B社 | 予定はない。こういうものを申請するお客様は自由旅行なので、団体は作りにくい。 |
| 3 | 瀋陽C社 | 予定はない。 |
| 4 | 大連A社 | 未定 |
| 5 | 大連B社 | 未定 |
| 6 | 大連C社 | 未定 |
| 7 | 大連D社 | 未定 |
| 8 | 北京A社 | 未定 |
| 9 | 北京B社 | FITのハイエンドな商品。 |
| 10 | 北京C社 | 興味はあるが、条件が厳しすぎるし、ビザの申請代行費も2000円と高い。そもそもマルチビザをとりたがる人は、親戚訪問か商務が目的。沖縄に行くことに関心があるわけではなく、ビザをとることが目的になっている。従って沖縄という目的地は二の次にされているのが現状。何とも判断しがたい。 |
| 11 | 北京D社 | 今のところない。9月に沖縄のCAの直行便が就航してから考える。本来は7月末と聞いていたが、それが9月になったとのことだ。海南航空は絶対使わない。カイサーと関係のあるものは非常に反感がある。CAに期待。 |
| 12 | 北京E社 | 団体用には向かない。正直な話をすると、ビザがなければ沖縄に行きたがる人もいないだろう。FTIから着手すると思う。 |
| 13 | 北京F社 | FITの商品。 |
| 14 | 北京G社 | 影響はそれなりにあると思う。しかし、多くの人は結局ビザが目的なので、沖縄に行きたいわけではないだろう。 |
| 15 | 北京H社 | 未定 |
| 16 | 北京J社 | 未定 |
| 17 | 青島A社 | 未定 |
| 18 | 青島B社 | FIT客が中心になると思う。団体ツアーは作る予定はない。 |
| 19 | 青島C社 | 沖縄+東京。直行便がないので、東京で乗り継ぐことになる。 |
| 20 | 上海B社 | 沖縄の商品を多くやるつもりはない。ビザの開放は旅行会社にとって長期的にはメリットがない。 |
| 21 | 上海C社 | ほぼFIT客。団体はほとんどない。経済力のある人は、団体ツアーに参加するのを好まない。 |
| 22 | 上海D社 | 団体ツアーは難しい。FIT客が中心。 |
| 23 | 上海E社 | 沖縄1エリア。 |
| 24 | 上海F社 | 沖縄のみ。他の都市とセットにすると、航空券、時間、費用等等、問題が少なくない。 |
| 25 | 上海G社 | ない。 |
| 26 | 上海H社 | FIT客が中心。ホテルと航空券のパッケージ商品を出すと思う。 |
| 27 | 上海I社 | 今のところまだ決めていない。 |
| 28 | 重慶B社 | 今のところない。 |
| 29 | 重慶C社 | ない。ビザの要件が更に緩和されてから考える。 |
| 30 | 重慶D社 | 特にない。反響がないから。 |
| 31 | 南京H社 | 春節にはチャーターを考えるかもしれないが、ニーズがあるかどうか見極めてから。 |
| 32 | 広州A社 | 沖縄+東京については現在研究中だが、コストが高いのがネック。 |
| 33 | 広州B社 | 沖縄1エリア。 |
| 34 | 広州C社 | 沖縄1エリアだけの商品はあり得ると思う。チケットは香港経由で入手することになるので、若干面倒。 |
| 35 | 広州D社 | 沖縄1エリア。 |
| 36 | 広州E社 | 沖縄1エリア。 |
| 37 | 広州F社 | 沖縄1エリア。 |
| 38 | 広州G社 | 沖縄1エリア。 |
| 39 | 深圳A社 | 沖縄1エリア。 |